

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒1人1台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町1134番地1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

「GIGA 通信 第1号」はいかがでしたでしょうか。「チーム学校」としての端末活用のご紹介と併せて、本紙に関するご意見・ご感想等を是非お寄せください。

さて、昨年度 GIGA スクール構想が加速され、その目的に「ICTの活用により全ての子どもたちに学びを保障すること」が追加されました。今回は、その「学びの保障」に関する2校の取り組みを紹介します。今後、どの学校においても取り組まなければならないものとして参考にしていただければ幸いです。

『学校で学びたくても学べない生徒へのオンライン学習』 (北中学校での実践)

北中学校では、今年1月から病気により登校ができない状態になっていた生徒に対して、オンライン学習を実施してきました。保護者からの要請に応じる形で、3月までに28日間、5教科を中心に生徒の負担も考え、午前中に2～4時間程度を目安に行いました。

開始時期が1人1台端末の整備前であったため、本人のスマートフォンと指導者用PCを「ズーム」でつなぎました。教科担任等が内蔵カメラの位置を調整し、教室の授業をライブで中継する形です。「ズーム」のアカウントは保護者に用意していただきました。

担任の初谷先生(当時)からは、「最初は不安もありましたが、実際にやってみると思ったより負担感はありませんでした。周囲の生徒にも『休んでいてもクラスの仲間』という気持ちが伝わったのではないかなと思います。」とのお話を聞くことができました。

また、野城校長先生からは「オンラインで授業を受けられたことで、本人の勉強に対する意欲が継続できたことが何よりです。保護者からも『本当にありがたかった。』との声を聞く事が

でき、よかったです。このようなケースは今後も予想され、今回の対応が次に繋がるとしています。」とのことでした。

国は、様々な理由により不登校が継続する児童生徒への支援策としてオンライン学習の実施を設置者及び学校に求めています。今回の北中学校での取り組みは、今後、想定される本人や保護者から依頼に対して、どう対応していくかを考えるヒントとなるのではないのでしょうか。

『連休を利用しての端末の持ち帰り』

(天明小学校での実践)

天明小学校では、連休を利用した端末の持ち帰りを29日(祝)に全校一斉で行いました。

渋江校長先生からは「臨時休校に備えること、児童が利用している端末を家庭に紹介すること、そして家庭の通信環境を知ること等が今回の目的です。」とのことでした。

事前に持ち帰りの※希望調査を行い、希望した家庭には、持ち帰りのための※承諾書を提出

していただきました。笑顔でランドセルに端末をしまう児童の表情がとても素敵でした。連休後に再度取材を行いたいと思います。

(文責 教育センター所長)

※ご提供いただいた資料は、C4thの書庫に保存しました。ご利用ください。

